

教育研究評議会（令和7年度第3回）議事要旨

1. 日 時 令和7年6月17日（火）13:30～15:07
2. 場 所 オンライン会議
3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）
（Webex）加藤、太田、小谷、西村、ベントンの各評議員（理事）
出村、笠原、上久保、加藤、細川、井上、別所、松下、船津、種池、筒井の各評議員

出席監事(Webex) 春本、柴田の両監事

陪席者（参集） 蜂谷、有賀の各課長
（Webex）元平部長
東、守山、田上、山本、伊賀、多田の各課長

（配付資料一覧）

- | | |
|-------|---|
| 資料1 | 教育研究評議会（令和7年度第2回）議事要旨（案） |
| 資料2 | 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学基本規則等の一部改正等について |
| 資料3 | 奈良先端科学技術大学院大学学生への経済的支援に関する方針等の一部改正について |
| 資料4 | 研究力向上に資する活用方針に定める経費の使途・活用策に係る支給、配分方法等についての取扱い等の一部改正について |
| 資料5 | Agreement for a Dual Doctoral programme between Ecole Normale Supérieure de Lyon and Nara Institute of Science and Technology |
| 資料6 | 令和8年度予算に係る運営費交付金概算要求について |
| 資料7-1 | 教員人事について（報告） |
| 資料7-2 | 教員人事について（報告） |
| 資料7-3 | 招へい教員・客員教員選考結果報告書 |
| 資料7-4 | 招へい教員・客員教員選考結果報告書 |
| 資料8 | 海外機関との学術交流協定の締結等について |
| 資料9 | NAISTオープンキャンパス2025.05の実施状況について |
| 資料10 | 2025年度オンライン学生募集説明会（4-5月分）の実施状況について |
| 資料11 | 令和7年度施設整備実施事業について |
| 資料12 | 令和6年度節電結果（最終報告）及び令和7年度節電目標について |
| 資料13 | 未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業 |

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1に基づき、令和7年度第2回の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

（審議事項）

- （1）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学基本規則等の一部改正等について
太田理事から、資料2に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学基本規則等の一部改正等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

（主な意見は、次のとおり）

- ・国際連携・人材開発推進機構はどのくらいの規模で設置されるのか。
→URAを2～3名、UEAを1～2名及び事務補佐員の配置を予定している。機構長や部門長に就任いただく先生方には可能な限り専任で担当していただくことを考えている。

- ・国際連携・人材開発推進機構が外部と関係を構築するにあたり、教育推進機構や研究・イノベーション推進機構と連携しながら実際の活動を広げていただきたい。
→ご指摘のとおり、各機構との連携は非常に重要である。現在、教育推進機構のキャリア支援部門との連携強化に向けて動いているところである。特に留学生の進路に関しては、J-PEAKS（地域中核・特色ある研究大学強化促進事業）の趣旨も踏まえつつ、一層の連携強化を図りたいと考えている。
- ・国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学におけるJ-PEAKS推進会議に関する規程（案4）について、J-PEAKS推進会議ではJ-PEAKSの推進だけでなく、奈良先端大全体の研究力の強化を推進するという認識でよいのか。
→J-PEAKSの推進は本学全体の研究力向上にも関係するものであり、両者を厳密に分ける必要はないと考えている。また、J-PEAKSの事業終了後においても、本推進会議を母体として大学全体の研究力強化を継続して推進する必要があることから、規程案においては幅を持たせた表現を用いている。

- (2) 奈良先端科学技術大学院大学学生への経済的支援に関する方針等の一部改正について
太田理事から、資料3に基づき、奈良先端科学技術大学院大学学生への経済的支援に関する方針等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- (3) 研究力向上に資する活用方針に定める経費の使途・活用策に係る支給、配分方法等についての取扱い等の一部改正について
太田理事から、資料4に基づき、研究力向上に資する活用方針に定める経費の使途・活用策に係る支給、配分方法等についての取扱い等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- (4) 海外機関とのダブルディグリープログラムの締結について
太田理事から、資料5に基づき、海外機関とのダブルディグリープログラムの締結について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- (5) 令和8年度概算要求(教育研究組織改革分)について
有賀会計課長から、資料6に基づき、令和8年度概算要求(教育研究組織改革分)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(報告事項)

- (1) 教員人事について
議長から、資料7-1~4に基づき、教員人事（准教授の退職2件、客員准教授の称号付与1件及び客員助教の称号付与1件）について、報告があった。
- (2) 海外機関との学術交流協定の更新について
太田理事から、資料8に基づき、海外機関との学術交流協定の更新について、報告があった。
- (主な意見は、次のとおり)
- ・今回の学術交流協定の更新にあたり、有効期間は5年であるが、その間に現担当教員が定年を迎える見込みである。後任の担当教員を検討しておく必要があるのではないか。
→担当教員が定年間近である場合は、可能な限り現担当教員に後任の選定を依頼し、学術交流協定の更新や新規締結も含めて後任の方にご担当いただくこととしている。今回についても現担当教員と相談のうえ、後任を決定したい。なお、現在はポイント制を採用しているため、実体のない交流協定が増えてしまうことを防げる仕組みにはなっているが、今後、退職時期が予め明らかな場合には後任の担当教員について早期に検討するよう努めたい。
- (3) NAISTオープンキャンパス2025.05の実施状況について
出村研究科長から、資料9に基づき、NAISTオープンキャンパス2025.05の実施状況について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・本学にとって重要であるのは、いかにして学生を集めるかという点である。7月入試に

係る願書の受付数について、3領域とも大幅に増加している。例年と同様に、幅広い大学や高専からの出願があり、オープンキャンパスや各種説明会の効果が反映されたものと見受けられる。

- (4) 2025年度オンライン学生募集説明会（4-5月分）の実施状況について
出村研究科長から、資料10に基づき、2025年度オンライン学生募集説明会（4-5月分）の実施状況について、報告があった。
 - (5) 令和7年度施設整備実施事業について
元平管理部長から、資料11に基づき、令和7年度施設整備実施事業について、報告があった。
- (その他)
- (1) 令和6年度節電結果及び令和7年度節電目標について
元平管理部長から、資料12に基づき、令和6年度節電結果及び令和7年度節電目標について、報告があった。
 - (2) 未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業の申請について
加藤理事から、資料13に基づき、未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業の申請について、報告があった。

以上